

これからのみちづくりに期待するもの

～「これからのみちづくりを考えるアンケート調査」の結果をうけて～



公共交通支援事業・横川駅前広場（広島市）



環境に配慮した街路整備・環状通エルムトンネル（札幌市）

まちのみちづくり
*Think Our Street*推進委員会

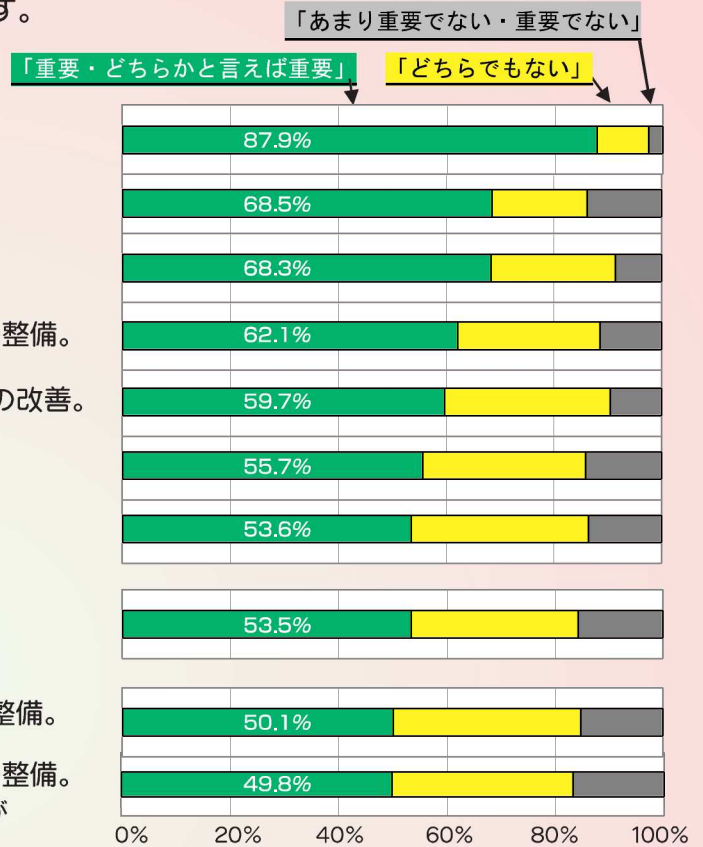
●TOS (Think Our Street推進委員会)では、これからのみちづくりのあり方を考えるために、皆様にアンケートを行いました。

○平成19年4～5月に、TOS推進委員会を構成する全国27都市で実施。
○配布数 3,400部。回収 578部(回収率17%)

○道路や交通の改善のためにやっている内容のうち、今後重要だと思うものについて聞きました。

・今後重要だと思う割合の高い内容は次のとおりです。

- ① 安心のため、歩道を広げたり段差をなくす。
- ② 歩きやすさや街並みに配慮して、電柱をなくす。
- ③ 自転車が安心して通ることができる道路の整備。
- ④ 都心を通る車を減らす、環状道路・バイパス道路の整備。
- ⑤ 乗換えが便利になる、駅前広場やバスターミナルなどの改善。
- ⑥ 路面電車など、車に頼らない公共交通の整備。
- ⑦ 踏切を取り除く、道路と鉄道の立体交差。
・大都市及びその近郊都市※1では69%、地方の都市では49%
- ⑧ 街路樹や植樹帯など、環境に配慮した道路の整備。
・大都市及びその近郊都市では67%、地方の都市では49%
- ⑨ にぎわいあふれる、歩いて楽しい歩行者中心の街路の整備。
- ⑩ 郊外の駅周辺に乗換用(パークアンドライド)駐車場の整備。
※大都市及びその近郊都市と地方の都市で、特に大きい差異があった設問のみ、その差異を記しています。



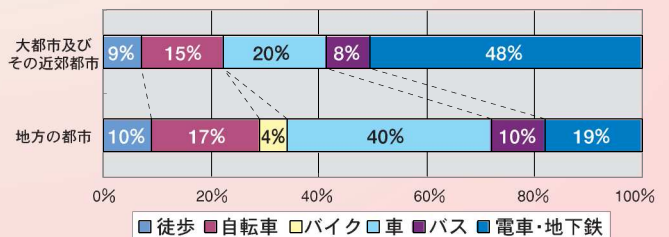
ポイント

安全・安心に繋がる内容や環状道路・バイパス道路の整備、及び公共交通を使いやすくする内容が今後重要だと思われています。また、大都市及びその近郊都市では道路と鉄道の立体交差や環境に配慮した道路の整備も重要だと思われています。

※1「大都市及びその近郊都市」等の主な移動手段について

平日の主な移動手段について、大都市及びその近郊都市では、電車・地下鉄・バスの利用が全体の約6割と多く、自動車が約2割と少ない。一方、地方の都市では、電車・地下鉄・バスの利用が全体の約3割と少なく、自動車が約4割と多い。このように、大都市及びその近郊都市と地方の都市では、主な移動手段が異なるため、それぞれの都市の状況に応じた道路や交通の改善が必要です。

主な移動手段(平日)



※大都市及びその近郊都市…大都市 - 3大都市圏の政令指定都市等(東京都区部、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、名古屋市、大阪市、京都市、神戸市、堺市)；その近郊都市 - 首都圏整備法による既成市街地及び近郊整備区域、近畿圏整備法による既成都市区域及び近郊整備区域、中部圏開発整備法による都市整備区域内の都市で前記大都市以外の都市

地方の都市…上記以外の地方の都市

●TOSでは、アンケート結果のポイントに示す皆様のニーズに応じたみちづくりが進むよう、PR活動や市町村への情報提供を行っていきます。

・まちのみちづくりを進めるため、今回のアンケートで今後重要だと思われる、安全・安心に繋がる内容や環状道路・バイパス道路、公共交通を使いやすくする内容をはじめ、道路と鉄道の立体交差や環境に配慮した道路など、次のような整備を推進します。

街路整備 (整備事例写真①②③)

取組1

街路のネットワークが、人やモノの流れを支え、都市を形づくります。
〔環状道路・放射道路の整備：沿道のまちづくり：ボトルネックの解消〕



①街路整備
環状2号線屏風ヶ浦
バイパス(横浜市)



②街路整備
美浜長作町線(千葉市)

③街路整備
売市烏沢線(八戸市)



連続立体交差事業 (整備事例写真④)

取組2

鉄道を立体化し、面的整備とあわせて魅力ある都市をつくります。
〔開かずの踏切の解消：一体的なまちづくりの実現：快適な通勤・通学の実現〕



④連続立体交差事業
JR阪和線(大阪市)

区画整理・再開発事業

取組3

面的な道路整備が都市の基盤となり、建物も街も生まれかわります。〔都市拠点整備：密集市街地の解消：中心市街地の活性化〕

⑤公共交通支援事業
東部丘陵線
(インフラ整備のみ)
(名古屋市)



公共交通支援事業 (整備事例写真⑤)

取組4

公共交通を整備し、より便利な街を実現します。
〔新交通・都市モノレール：駅前広場の整備〕

魅力ある街路空間整備（整備事例写真⑥⑦）

取組5

都市の貴重な公共空間を、快適で魅力ある豊かな空間にします。
〔バリアフリー化：電線類地中化：個性豊かなまちづくり〕



⑥魅力ある街路空間整備
御池通シンボルロード
（京都市）

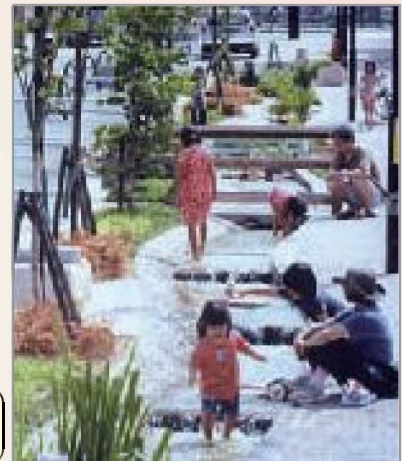
⑦魅力ある街路空間整備
大宮ほこすぎ橋（人道橋）
（さいたま市）



取組6

環境に配慮した街路整備（整備事例写真⑧）
環境に配慮した街路空間を整備します。

⑧環境に配慮した街路整備
本城弘川線（北九州市）



取組7

住民参加による街路整備（整備事例写真⑨）

住民参加によるあたらしい道づくりを進めます。

⑨住民参加による街路整備
松本地区せせらぎ歩道（神戸市）

道路特定財源制度は、受益者である自動車利用者が道路整備の費用を負担する制度であり、街路事業にも活用されています。

TOSって何

- ・TOSは「Think Our Street」の頭文字をとったものです。「Think Our Street 推進委員会（TOS）」は、快適なまちづくりを進めるうえで都市内道路整備の促進について、その必要性を多くの方々に理解していただくために、平成4年度（1992年度）より街路事業についての広報活動・調査研究・情報交換などの活動を行っています。現在27の市が参加しています。
- ・TOSのホームページでは、各会員都市の整備事例を紹介しています。

<http://www.tos.or.jp/>



お問い合わせ

TOS推進委員会については…

- TOS～Think Our Street推進委員会事務局：札幌市建設局土木部道路課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 TEL:011-211-2617

当パンフレット及び当アンケートの内容については…

- 広島市道路交通局道路部街路課
〒730-8586 広島市中区国泰寺町1丁目6-34 TEL:082-504-2373